

◆ “たすき”がつなぐもの ◆



「あと50m ファイト！」 クラスメイトから声援が飛ぶ。声援を受けたランナーは最後の力を振り絞る…。ほぼ無風状態。真っ青な空。朝は少し肌寒かったが、力走がそれを吹き飛ばしてくれた。多くのランナーが汗びっしょり。

走り終わった後、ゴールのテーブル前で「ああ。気持ち良かった」ということばを何度も聞いた。

そう、何事も一所懸命やった後は本当に気持ちのいいものだ。

感染拡大が続いている。臨時休校のため様々な行事が中止・延期になった今年度。本当につらい年度となっていたが、生徒の皆さんが「正しく怖が」ってくれているお陰で、本校は順調な学校生活を続けることができている。改めてお礼をいいます。ありがとう。そして、今回も十分に対策し実施した伝統の駅伝大会。クラス毎にひたすら“たすき”をつなぐ。

密を避けるため、例年の倍の4レースでの開催とした。また、教室で観戦ができるようにと、球技会に引き続き実施した各クラス毎のインターネットのライブ配信。球技会の反省を踏まえ入念に準備してもらった。準備に当たられた先生方。本当にありがとうございました。

さて、この駅伝大会競技、4レースすべてのスターターを務めた。そして、皆さんの素晴らしい場面をたくさん見る事ができた。冒頭記した声援もそうだが、アンカーと一緒にクラスメイトと一緒に走る姿もあった。競技なので順位はつくが、遅くなってしまったクラスへの暖かな応援等々。



相手に対する気遣い、リスペクト、それから今年度、これはいろいろなところで言っているのだけれど「**藤高クオリティ**」の一番いいところだと思っている皆さんの「**やさしさ**」、これがよく出ていたのではないかと思います。これからも、この点を大事にして欲しい。将来にわたり皆さんの宝物になる。

特に3年生にとっては、これが本校での大きな行事では最後のものとなる。よい思い出ができましたか？

大会は無事終了した。これからは一人一人、それぞれのゴールを目指し走って行く。

“たすき”はこれからも受け継がれてゆく…。